

(学校図書館)

「本を読み 主体的に学ぼうとする 子どもを育てる」
—読んでわくわく 調べてどきどき 本はともだち！！—

大阪市立鶴見南小学校 研究部

1. 研究主題設定の理由

本校では、平成26年度から29年度の4年間にわたって読書活動・図書を使った探究型学習の研究に取り組んできた。

26年度は、読書に親しみ、自ら学ぶ力を身に付けようとする児童を育てるには、どのような学習場面でどのような読書活動を取り入れていくことが効果的か模索し、ビブリオバトルやブックトークなどの図書紹介や、楽しく読み深めるための読書ゲームとして読書のアニメーション、分類記号等を意識した図書検索の学習、新聞を取り入れたNIEの活動などいろいろな読書活動を行ってきた。

27年度は、図書を使って自分で学ぶ力を身に付けさせていきたいと考え、探究型学習の進め方について焦点を当てて研究を進めることにした。情報収集や選択の仕方、要約などの情報のまとめ方、新聞やクイズ作りなどの情報発信の仕方など図書を使った探究型学習の基礎基本をおさえることができた。また、学年文庫や学校図書館の充実など読書環境づくりも合わせて進めてきた。その結果、読書が好きな児童が増え、読書を様々な形で楽しむ姿が見られ、読書環境も整えられてきた。

28年度は図書を使った探究型学習のスキルの向上だけでなく、主体的・対話的で深い学びにつながる図書を使った探究型学習の在り方についても研究を進めた。児童の自主的な学習活動になるような指導の在り方や支援の仕方、また、学びの中での友だちとの有効な関わり方はどのようなものか、についての視点をもって研究授業・公開授業に取り組んだ。研究授業に至るまでに各学年で押さえておくべきスキルについて考えて指導の年間計画を立て、計画的に授業を進めてきた。そして、読書習慣を児童一人一人により身につけさせるため、家庭での読書の支援の仕方や児童の個別の対応について研究を進めてきた。

2. 研究の趣旨

本年度は、「本を読み 主体的に学ぼうとする 子どもを育てる —読んでわくわく 調べてどきどき 本はともだち！！—」と研究テーマを設定し、これまでの集大成として、主体的・対話的で深い学びをふまえた図書を使った探究型学習の指導のあり方の研究と読書環境の維持・家庭読書の推進をすすめることにした。

3. 研究の概要

研究主題にせまるため、研究の視点を以下のように設定した。

視点① 図書を活用した探究型学習で主体的・対話的で深い学びにつながる指導法の研究

- 「学ぶ」「調べる」目的を明確にして探究型学習に適した学習内容を選定し、探究型学習を行うためのスキルの向上を図る。
- 探究型学習の指導では、①課題設定および学び方の指導②情報活用（調べ方のスキルの向上）③表現（一人一人の意見をどう持たせるか）④交流（ペア・グループ・全体）の四つにポイントを置き、研究を進める。

視点② 図書を活用した探究型学習の指導計画の作成

- 図書を使った探究型学習と読書活動について、年間計画を作成する。

視点③ 家庭読書の推進

- 休日の宿題として読書を推進する。図書委員会が作成した読書カードを読書記録に活用する。

視点④ 読書活動の工夫

- 読書への興味関心を高め、読書習慣を育てるための読書活動や読書支援を工夫する。
- 読書環境の維持・充実を図る。

4. 研究の成果と今後の課題

(1) 研究の成果

- 図書を活用した探究型学習の指導計画の作成
 - ・ 年度当初に、図書を活用した探究型学習の年間計画を立て、学習内容を選定した。児童に何を学ばせ、調べさせるかを明確にして指導に当たることができた。また、公共図書館からの団体貸出しを活用して、計画的に準備を進めることができた。
- 主体的・対話的で深い学びをふまえた図書を使った探究型学習の指導法の研究
 - ・ 低中高学年ごとに研究授業・公開授業を行い、探究型学習の指導法の研究を進めた。課題意識設定の仕方、付箋や書目を活用した情報の集め方、サイドラインや丸を付けるなどの大事な言葉の見つけ方、観点を意識した情報のまとめ方、要約や引用の仕方など、児童が主体的に図書を使った探究型学習を行うためのスキルの向上を図ることができた。
 - ・ 公共図書館と連携し、探究型学習で活用する図書を準備し、並行読書ができるように整備した。それにより、興味を持ってたくさんの情報に触れることができ、自然に課題意識を持たせることにつながった。
 - ・ いつでも図書が手に取れる環境を整備したので、調べたいときに図書で調べることができ、主体的な学びにつながった。
 - ・ ペアやグループで自分が調べたことを伝え合う場を多く持つようにした。それにより、内容を確認したり、さらに深めたりすることができた。同じものや似たようなものを調べている児童で小グループを作ることによって対話的な学びにつながった。
 - ・ 調べたことをもとに、図鑑作り、レポート作り、研究発表、新聞作り、ポスターセッションなど、調べたことを交流することができた。

(2) 今後の課題

- 探究型学習で活用する図書の精選と必要な冊数の確保が難しかった。今年度有効だった図書を計画的に購入するなどし、必要な図書の確保をしていく。
- 大事な言葉や文を見つけたり、引用・要約したりする力をつけるための指導を継続して行う。
- 今後もさまざまな教科での探究型学習を継続して行う。